

計 画 期 間

令和3年度～令和12年度

蘭越町肉用牛生産近代化計画書（準ずる計画）

令和3年11月

蘭越町

目 次

- I 肉用牛生産の近代化に関する方針
- II 肉用牛の飼養頭数の目標
 - 1 肉用牛の飼養頭数の目標
- III 肉用牛経営の改善の目標
 - 1 肉用牛経営
- IV 肉用牛の飼養規模の拡大に関する事項
 - 1 肉用牛
- V 国産飼料基盤の強化に関する事項

I 肉用牛生産の近代化に関する方針

蘭越町は、町の中央を尻別川が貫流し、周囲をニセコ連邦の山岳に囲まれた傾斜地の多い盆地地帯である。気候は、夏は比較的温暖で、年間雨量も1,000mm以上、日照時間も1,200時間以上で、昼夜の寒暖差があり、水稻栽培に適した環境となっており、蘭越町の基幹産業となっている。

畜産については、転作による飼料作物の効率利用を目的として、稲作・畑作との複合経営を推進してきたが、畜産経営における労働加重や労働力不足の問題が顕在化等から、畜産農家戸数が年々減少しており、畜産環境を取り巻く情勢は厳しいものとなっている。

このため、自給飼料生産基盤の整備を行い、良質な粗飼料の確保による飼料自給率の向上と飼養管理技術の向上・高度化によるコスト低減、経営体質の見直しによる畜産経営基盤の強化を図り、担い手の育成を行い地域畜産の活性化を目指すため、酪農・肉用牛生産近代化計画について、策定基準は満たしていないが、蘭越町の肉用牛の振興を図るため、酪農・肉用牛生産近代化計画に準ずる計画として策定する。

II 肉用牛の飼養頭数の目標

1 肉用牛の飼養頭数の目標

区域名	区域の 範囲	現在(平成30年度)								目標(令和12年度)							
		肉用牛 総頭数	肉専用種				乳用種			肉用牛 総頭数	肉専用種				乳用種等		
			繁殖雌牛	肥育牛	その他	計	乳用種	交雑種	計		繁殖雌牛	肥育牛	その他	計	乳用種	交雑種	計
北海道	蘭越町	110	-	-	-	-	110	-	110	117	-	-	-	-	117	-	117
合計		110	-	-	-	-	110	-	110	117	-	-	-	-	117	-	117

- (注) 1. 繁殖雌牛とは、繁殖の用に供する全ての雌牛であり、子牛、育成牛を含む。
 2. 肉専用種のその他は、肉専用種総頭数から繁殖雌牛及び肥育牛頭数を減じた頭数で子牛を含む。以下、諸表において同じ。
 3. 乳用種等とは、乳用種及び交雑種で、子牛、育成牛を含む。以下、諸表において同じ。

III 近代的な肉用牛経営方式の指標

1 肉用牛経営方式

(1) 肉用牛（肥育・一貫）経営

目指す経営の姿	経営概要					
	経営形態	飼養形態				
		飼養頭数	飼養方式	外部化	給与方式	放牧利用 (放牧地面積)
乳用種一貫経営（専業）	家族経営専業	110頭	牛房群飼	-	分離給与	- (ha)

生産性指標																			備考
牛					飼料							人							
肥育開始時月齢	出荷月齢	肥育期間	出荷時体重	1日当たり増体量	作付体系及び単収	作付延べ面積 ※放牧利用を含む	外部化	購入国産飼料 (種類)	飼料自給率 (国産飼料)	粗飼料給与率	経営内堆肥利用割合	生産コスト 肥育牛1頭当たり 費用合計 (現状との比較)	労働 肥育牛1頭 当たり 飼養労働時間	経営					
ケ月	ケ月	ケ月	ケ月	Kg	Kg	Ha			%	%	割	円 (%)	hr	総労働時間 (主たる従事者)	粗収入	経営費	農業所得	主たる従事者1人当たり所得	
7.9	20.0	12.1	770.0	1.182	イネ科主体	987	-	-	19.2	12.3	10	287,124	11	1,210	5,430	4,775	655	328	

(注) 1. 繁殖部門との一貫経営を設定する場合には、肉専用種繁殖経営の指標を参考に必要な項目を追加すること。

2. 「肥育牛1頭当たりの費用合計」には、もと畜費は含めないものとする。

IV 肉用牛の飼養規模の拡大に関する事項

1 肉用牛

(1) 地域別肉用牛飼養構造

	区域名		① 総農家数	② 飼養農家 戸数	②/①	肉用牛飼養頭数							
						総数	肉専用種				乳用種等		
							計	繁殖雌牛	肥育牛	その他	計	乳用種	交雑種
肉専用種 繁殖経営	現在 目標	/	/	-	%	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
						-	-	-	-	-	-	-	-
	現在 目標	/	/	-	%	-	-	-	-	-	-	-	-
						-	-	-	-	-	-	-	-
	合計 現在 目標	/	/	-	%	-	-	-	-	-	-	-	-
						-	-	-	-	-	-	-	-
肉専用種 肥育経営	現在 目標	/	()	-	%	-	-	-	-	-	-	-	-
						-	-	(-)	(-)	-	-	-	-
	現在 目標	/	()	-	%	-	-	-	-	-	-	-	-
						-	-	(-)	(-)	-	-	-	-
	合計 現在 目標	/	/	-	%	-	-	-	-	-	-	-	-
						-	-	-	-	-	-	-	-
乳用種・交雑 種肥育経営	蘭越 町 現在 目標	/	()	1	%	110	-	-	-	-	110	110	-
						117	-	(-)	(-)	-	117	117	-
	現在 目標	/	()	-	%	-	-	-	-	-	-	-	-
						-	-	(-)	(-)	-	-	-	-
	合計 現在 目標	/	/	1	%	110	-	-	-	-	110	110	-
						117	-	-	-	-	117	117	-

(注)()内には、一貫経営に係る分(肉専用種繁殖経営、乳用種・交雑種育成経営との複合経営)について内数を記入すること。

(2) 肉用牛の飼養規模の拡大のための措置

良質な粗飼料の安定生産・利用の改善、資料自給率の向上、生産・経営管理技術の革新、新技術の導入等効果的な方法による生産の合理化を推進し、経営基盤の強化を図る。

V 国産飼料基盤の強化に関する事項

1 飼料の自給率の向上

		現在	目標（令和12年度）
飼料自給率	肉用牛	19.2%	27.7%
飼料作物の作付延べ面積		987ha	987ha

2 具体的措置

適期収穫の励行、適正な施肥の促進、堆肥の草地還元により、自給飼料の生産性を高め単位収量の増収に努める。